



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 修二
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦 (TEL) 06-6411-1051
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)								
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,230	△5.1	511	△50.5	556	△49.4	780	△8.1
2025年3月期第3四半期	25,545	6.0	1,032	22.2	1,100	23.7	849	13.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 801百万円(△14.1%) 2025年3月期第3四半期 702百万円(△8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 132.07	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	143.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 43,902	百万円 24,498	% 55.8
2025年3月期	44,081	24,022	54.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 24,498百万円 2025年3月期 24,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
2026年3月期	—	25.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				20.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高				営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	35,000	2.1	950	△18.6	950	△23.1	800	△22.7	135.37	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) ファイベックス株式会社 、除外 一 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期 3 Q	5,912,999株	2025年3月期	5,912,999株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	3,315株	2025年3月期	3,110株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期 3 Q	5,909,777株	2025年3月期 3 Q	5,910,146株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、今後の物価動向や、米国の通商政策影響などが、我が国の景気を下押しするリスクに留意が必要となっております。当社グループを取り巻く事業環境においても、国際情勢をめぐる地政学リスクの継続、人件費を始めとした諸コストの上昇、米国の通商政策動向等、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、諸コストの上昇に対する販売価格改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めましたが、厳しい事業環境の継続による販売数量の減少や諸コストの上昇に加えて、当期は前年同期水準の在庫評価影響が発生しなかったこと等により、当期における当社グループの連結業績は、売上高は24,230百万円と前年同期に比べ1,315百万円の減収、営業利益、経常利益はそれぞれ511百万円（前年同期比521百万円の減益）、556百万円（前年同期比544百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は780百万円（前年同期比69百万円の減益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

＜特殊鋼線関連事業＞

（P C関連製品）主力の土木橋梁分野において、新設案件および補修補強案件の双方が減少する厳しい事業環境の継続に加え、民間建築分野においても、労働力不足等に伴う工事遅れの影響等により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

（ばね・特殊線関連製品）主力の自動車分野における販売数量は、中国での日系自動車メーカーの販売不振影響に加え、一部メーカーでの生産トラブル影響等により、前年同期に比べ減少しました。また、プリンターフィルムにおいても、需要低迷によるプリンターメーカーの販売減少や、海外拠点における労働力不足を背景とした生産調整の影響等により、前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は13,405百万円と前年同期に比べ299百万円の減収となり、営業利益は194百万円（前年同期比254百万円の減益）となりました。

＜鋼索関連事業＞

各業界の労働力不足や諸コストの上昇影響等により、需要は依然として低水準で推移しており、販売数量は前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は9,827百万円と前年同期に比べ424百万円の減収となり、営業利益は431百万円（前年同期比29百万円の減益）となりました。

＜エンジニアリング関連事業＞

公共工事の発注減少や工事・メンテナンス分野、建築分野における予算不足起因での施工遅れ影響等により、売上高は951百万円と前年同期に比べ591百万円の減収となり、営業損失は152百万円（前年同期は85百万円の利益）となりました。

＜その他＞

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ45百万円、38百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、179百万円減少の43,902百万円となりました。これは主として売掛金の減少、商品及び製品の増加によるものです。

負債は、656百万円減少の19,403百万円となりました。これは主として賞与引当金の減少によるものです。

純資産は、476百万円増加の24,498百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年11月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,330	2,893
受取手形	100	116
売掛金	4,633	3,509
電子記録債権	4,737	4,669
商品及び製品	5,002	5,611
仕掛品	3,699	4,254
原材料及び貯蔵品	2,363	2,284
その他	606	623
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,471	23,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,637	2,839
機械装置及び運搬具（純額）	5,121	5,280
工具、器具及び備品（純額）	91	105
土地	5,852	5,904
リース資産（純額）	0	8
建設仮勘定	275	264
有形固定資産合計	13,979	14,402
無形固定資産		
投資その他の資産	247	240
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883	1,940
繰延税金資産	557	355
退職給付に係る資産	2,789	2,821
その他	178	206
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	5,382	5,297
固定資産合計	19,609	19,940
資産合計	44,081	43,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,593	2,299
短期借入金	6,044	5,652
リース債務	0	1
未払費用	1,023	1,112
未払法人税等	210	52
契約負債	92	68
賞与引当金	673	259
その他	977	506
流動負債合計	11,615	9,953
固定負債		
長期借入金	4,326	5,142
リース債務	–	6
役員退職慰労引当金	5	–
環境対策引当金	13	12
災害損失引当金	76	53
退職給付に係る負債	3,950	4,081
その他	71	154
固定負債合計	8,443	9,450
負債合計	20,059	19,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	5,440	5,896
自己株式	△3	△3
株主資本合計	21,664	22,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	665
為替換算調整勘定	207	192
退職給付に係る調整累計額	1,678	1,521
その他の包括利益累計額合計	2,357	2,378
純資産合計	24,022	24,498
負債純資産合計	44,081	43,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	25,545	24,230
売上原価	21,014	19,934
売上総利益	4,531	4,295
販売費及び一般管理費	3,498	3,784
営業利益	1,032	511
営業外収益		
受取利息	42	38
受取配当金	59	62
持分法による投資利益	39	38
固定資産賃貸料	32	32
その他	12	13
営業外収益合計	187	184
営業外費用		
支払利息	61	85
出向者負担金	19	15
固定資産廃棄損	8	9
その他	29	28
営業外費用合計	119	139
経常利益	1,100	556
特別利益		
投資有価証券売却益	166	126
負ののれん発生益	—	※1 353
受取保険金	5	※2 214
特別利益合計	172	695
特別損失		
災害による損失	129	—
段階取得に係る差損	—	※1 203
特別損失合計	129	203
税金等調整前四半期純利益	1,143	1,048
法人税、住民税及び事業税	179	83
法人税等調整額	114	184
法人税等合計	293	268
四半期純利益	849	780
親会社株主に帰属する四半期純利益	849	780

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	849	780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	193
為替換算調整勘定	0	△2
退職給付に係る調整額	△112	△156
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△13
その他の包括利益合計	△147	21
四半期包括利益	702	801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	702	801

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 負ののれん発生益、段階取得に係る差損

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社は、持分法適用関連会社であるファイベックス株式会社について株式を追加取得し2025年4月1日に完全子会社化いたしました。この子会社化に伴い、負ののれん発生益、段階取得による差損を計上しております。

※2 受取保険金

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

2024年4月16日に発生いたしましたロープ製造所（尾上地区）におけるひょう被害による損害に係る保険金を2025年12月1日に受け取っております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,705	10,251	1,542	25,499	45	25,545	—	25,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	156	3	577	—	577	△577	—
計	14,122	10,407	1,546	26,076	45	26,122	△577	25,545
セグメント利益	448	460	85	994	38	1,032	—	1,032

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,405	9,827	951	24,184	45	24,230	—	24,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	499	137	2	639	—	639	△639	—
計	13,905	9,964	953	24,823	45	24,869	△639	24,230
セグメント損益	194	431	△152	472	38	511	—	511

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

特殊鋼線関連事業において、ファイベックス㈱の株式を追加取得し子会社化したことにより、負ののれん発生益353百万円を特別利益に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	728百万円	781百万円